

慶應義塾大学大学院 文学研究科

2021 年度 修士課程 春期入試（一般入試・外国人留学生入試）/ 後期博士課程入試
出願者の皆様へ

2021 年文学研究科修士課程 春期入試（一般入試・外国人留学生入試）および後期博士課程入試〔一次筆記試験 2 月 24 日（水）、二次口頭試問 26 日（金）〕は、新型コロナウイルス感染症予防に十分留意しながら三田キャンパスで実施することを基本といたします。現在の同様の緊急事態宣言の延長であれば、キャンパスで実施いたします。ただし、今後より強い制限が課されるなど、三田キャンパスの完全閉鎖が行われたりした場合には、一次筆記試験は中止し、二次口頭試問のみをオンラインで実施いたします。

受験生のみなさまにおかれましては、マスクの着用、手洗い・うがいの励行等、感染症予防と体調管理に努め、受験に臨んでください。

1. 三田キャンパスでの試験実施

- 1) 受験生は当日朝に必ず検温を行ってください。37.5°C以上の発熱が確認された場合には、受験をご遠慮ください。試験当日は試験会場入口にて検温を行いますのでご協力ください。感染者拡大防止の観点から、その場で、37.5°C以上の発熱等の症状が見られた場合には、受験をお断りいたします。その際はご了承ください。
- 2) 試験会場入口に備え付けてあるアルコール消毒液の利用と手洗いによって、手指の消毒にご協力ください。

- 3) 受験の際には、必ず不織布マスクを着用してください。ただし、写真照合の際は、係員の指示に従って、マスクの取り外しにご協力を願いいたします。また、係員は不織布マスクとフェイスシールド等を着用致します。

- 4) 受験当日、体調がすぐれない場合は、速やかに係員にお知らせください。

5) 試験会場について

筆記試験会場は、受験者同士のソーシャルディスタンスが保たれるよう座席指定を行います。会場は適宜換気を行います。開場前に消毒を行います。
口頭試問の会場でもソーシャルディスタンスが保たれるよう、座席の配置を工夫いたします。受験生が入れ替わる際に消毒・換気を行います。

2. オンラインでの試験の実施

- 1) より強い制限が課される緊急事態宣言の発令もしくは三田キャンパスの完全閉鎖で、受験生がキャンパスに入構できない場合は、一次筆記試験を中止し、二次口頭試問のみをオンラインで実施いたします。オンラインでの試験を実施する場合には、すみやかに大学院入学案内ウェブサイトで周知するとともに、出願時に登録いただいたメールア

ドレスに通知いたします。

2) オンライン口頭試問は大学が指定するウェブ会議システム（アプリケーション）を使用していただることを予定しています。詳細については、オンライン試験の実施が決まった際に、出願時に登録されたメールアドレスに連絡いたします。一次筆記試験を中止いたしますので、その日にオンラインの接続テストを行います。

皆様におかれましても、ご使用の端末にカメラ・マイク機能が付いているかご確認ください。また通信接続の安定を図るため、PCとルーターを有線で結んだ環境をご用意ください。

3 キャンパスでの試験とオンラインでの試験を併用させることはいたしません。どちらの場合においても、試験を受けられない志願者への追試実施などの特別措置は行いませんのでご了承ください。

【海外在住の外国人出願者の方へ】

1月13日水際対策強化に係る新たな措置が決定・公表されました。

(参考) https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/fna/page4_005130.html

入国できず受験できない外国人志願者は以下の期日までにこちらへお問い合わせください。期日内に所定の手続を完了した場合に限り入学検定料を返金します。

日々状況が変化する可能性がありますので、外務省および各国の大連館等のホームページ等により最新の情報を確認の上、ご対応いただきますよう宜しくお願ひ致します。

問い合わせ期日：2月9日（火）

以上